

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Grabity LiNE		
○保護者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様のニーズに合わせた個別支援計画の作成が行われている。	子どもの特性やニーズに応じた専門性のある支援が行われており、個別支援計画が客観的に分析された上で作成・実施されている。	子どもの個々の特性や発達段階に応じて支援内容を調整し、適切なサポートが提供されるよう工夫されている。
2	保護者様との密な連携体制と情報共有がなされている。	日常的に子どもの状況について保護者様と情報を共有し、共通理解が得られている。また、定期的な面談や子育てに関する助言も実施されている。	保護者様との意思疎通を円滑にするために、日常的なコミュニケーションの工夫や、面談・助言などを通じて保護者支援も意識している。
3	保護者様に対して丁寧な説明と対応を行っている。	事業所の運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明が行われ、利用者様が安心してサービスを受けられる環境が整っている。	個人情報の取り扱いについて十分な配慮がなされており、プライバシーの保護に関する意識が高い。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会がない。	放課後児童クラブや児童館、地域の子どもたちとの交流イベントを企画し、子どもたちの社会性を育む機会を増やす。	地域の施設や団体と定期的な連絡会を設け、合同イベントや交流プログラムを積極的に企画する。
2	家族支援プログラムの提供が進んでいない。	ペアレント・トレーニングや家族参加型の研修会を定期的に関催し、家族全体への支援を強化する。	家族向けの研修会や交流イベントを定期化し、ペアレント・トレーニングのような体系的な家族支援プログラムを導入する。
3	情報発信の機会が少ない。	定期的な通信、ホームページ、SNSを活用して、活動概要や行事予定、自己評価の結果などの情報を積極的に発信する。	ホームページやSNSの活用、定期的なニュースレターの発行など、情報発信の仕組みを整備し、保護者が事業所の活動を把握しやすい環境をつくる。